

岩手県支部 委員会・研究会 活動報告

活動名	令和7年度鋼構造コンクリート・道路研究会合同現場研修会 (CPD 番号7-10)
主催	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部 鋼構造コンクリート研究会・道路研究会
日時	2025年12月12日(金) 14:00~15:00
場所	宮古盛岡横断道路田鎖墓目道路(仮称) 墓目大橋下部工工事 岩手県宮古市墓目地内
参加人数等	19人

活動内容

【現場研修会の概要】

鋼構造コンクリート研究会及び道路研究会では国(国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所)が直轄権限代行事業により整備を進めている宮古盛岡横断道路(一般国道106号)田鎖墓目道路の(仮称)墓目大橋下部工工事で現場研修会を開催し、19人が参加した。

【現場研修会対象事業の概要】

宮古盛岡横断道路(一般国道106号)は、三陸沿岸道路と東北縦貫自動車道を結ぶとともに、盛岡秋田道路(一般国道46号)と一体となり、東北地方の連携・交流の骨格となる格子状骨格道路ネットワークを構成する極めて重要な路線であり、救急医療活動の支援、広域周遊観光の拡大、災害に強い道路ネットワーク確保の観点からも重要な役割を担う幹線道路である。

しかし、平成28年8月の台風第10号により、宮古市根市~墓目をはじめ各地で道路が寸断し、長期にわたる広域的な迂回が必要となり、救援活動や県民生活に多大な支障が生じた。

このため、自然災害に対する脆弱性の解消や、救急医療活動及び地域産業の更なる支援を図るため、国が直轄権限代行事業により令和2年度に整備に着手し、現在、宮古市墓目地内の(仮称)墓目大橋等で工事が進められている。

【現場研修会の実施状況】

現場研修会では、工事受注者の株式会社テラから事業概要、工事の進捗状況等について説明があった後、工事が進むA橋台、P1橋脚の施工状況等を確認した。

参加者からは、採用している鉄筋工の機械式継手やコンクリートのひび割れ対策、省力化の取組等に関する活発な意見交換が行われ、有意義な現場研修会となった。



田鎖墓目道路の工事状況



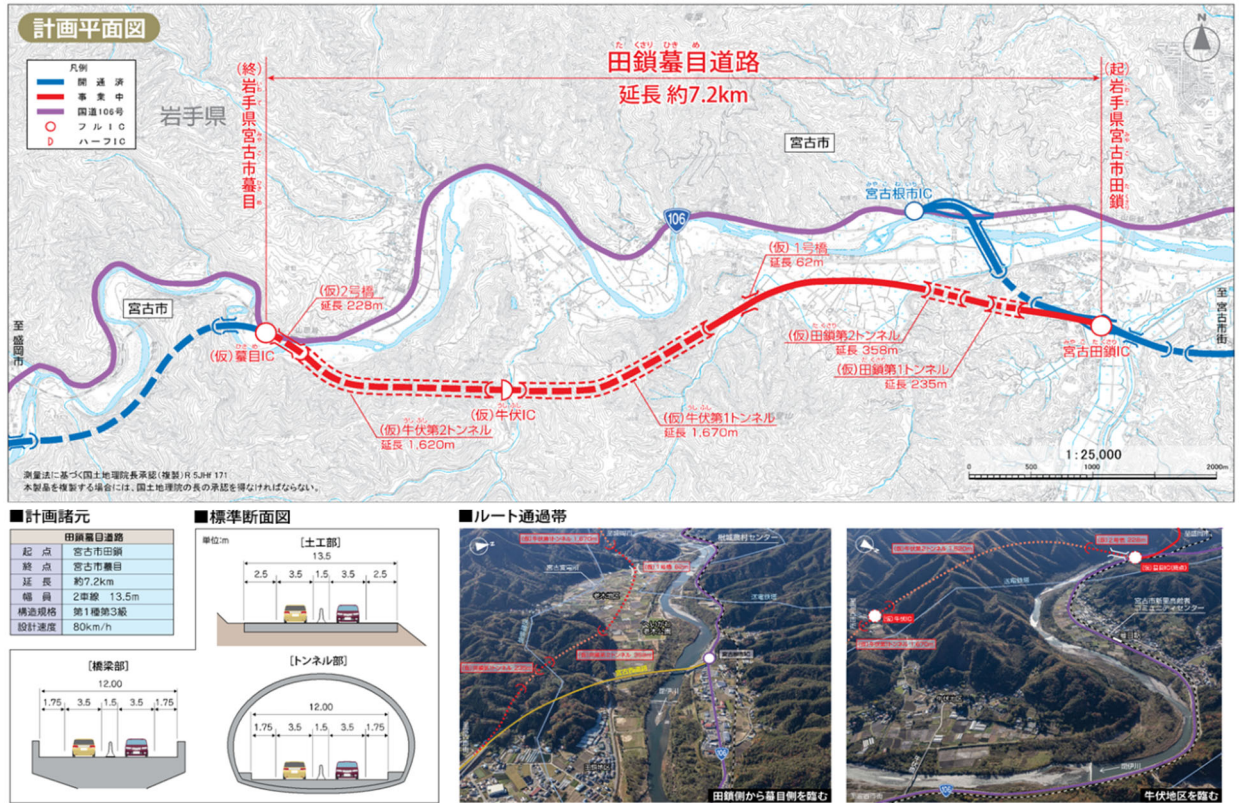
現場研修会の状況(A1橋台)



参加者で集合写真

(道路研究会代表 熊谷 記)

【概要図】



【平成 28 年台風第 10 号の影響】



▲「いわての道路平成28年度版」内の岩手県管内道路網を一部抜粋し、岩手県土木整備部道路建設課で加工